

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	スペースデザイン（Space Design）		
ナンバリングコード	L20404	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 標準レベル 建築計画
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修・選択区分	コース選択必修:住居・インテリアコース 選択:建築設計コース、建築工学コース、環境地域(まち)コース、環境地域(社会)コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L040451	クラス名	-
担当教員名	近藤 正一、松岡 勇樹		
履修上の注意、 履修条件	毎回出席し、適宜配布される資料を精読し、理解をはかること。 限られた講義の時間を有効に使えるように、各自工夫すること。		
教科書	使用しません。必要に応じて資料を配布します。		
参考文献及び指定図書	随時紹介します。		
関連科目	基礎製図 CAD製図		

○基本情報		
授業の目的	「スペースデザイン」は、これから建築学(とくにデザイン)を修得していくための基盤となる導入科目です。Vectorworksをデザインのための道具として使いこなせるようになるとともに、レーザー加工機を利用して家具を製作します。プロダクトデザイナーの指導の下、《ものを創り出すとはどういうことなのか》を実体験を通して学びます。 また、授業の成果物を美術館等に展示し、一般公開します。展示会場の設営・運営・片付け作業完了までを一連の課題とし、空間レイアウトについて思慮を巡らせ自ら行動することで、スペースデザインを体得することを目的とします。	
授業の概要	三浦梅園の「一即一ー、一ー即一」の世界モデルとデ・スタイルの造形手法を参照しながら、2種類の基本構造を使って家具を制作します。設計はVectorworks、部品の製造にはレーザー加工機を使用します。家具は、白黒赤黄青の 5 色の中から最低2色を選び、着色します。提出作品は、44.6%の縮小モデルとします。また、優秀作品については、1/1モックアップモデルを作成します。完成した作品は、美術館等に展示し、一般公開します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	カテゴリー II : 地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
実務経験のある教員による授業科目	松岡勇樹 本授業のスペースデザインに関連する実務経験としてプロダクトデザイン事務所を主催(プロダクトデザイナーとして実務を踏まえたスペースデザイン指導を行う)。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	課題へ取り組む意欲を持っている。積極的に質問等が出来る。		20点	5点
【知識・理解】	課題の意図が理解出来る。		20点	5点
【技能・表現・コミュニケーション】	設計、及び製作において合理性と効率化に配慮が出来る。		20点	
【思考・判断・創造】	課題の意図を把握し、深い思考力をもって、アイデアを展開し、発展させることが出来る。		30点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
原則として毎回、講義の最後に授業内容について課題を出します。 提出をもって出席に代えますので、課題が課されたら、かならず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバック方法については、次回以降の授業中に講評・解説を行います。

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	スペースデザイン（Space Design） 近藤 正一、松岡 勇樹	授業コード	L040451
学修内容				
1. オリエンテーション1				
課題の主旨、目的、到達目標、評価基準、スケジュール及び留意事項を説明します。 受講生の自己紹介として、選択理由、問題意識等の把握を行います。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
2. オリエンテーション2				
そもそもデザインとは何か、この課題に取り組むにあたり、何が大切なのかを詳説します。 FLATSを組み立てる体験演習を実施します。 次回までの課題を出します。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
3. スケッチによる作図作業1				
まずは、これから制作に取り組む作品の部材を構成するイメージを構築し、スケッチを描きます。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
4. スケッチによる作図作業2				
作業の続きです。未完成の場合は、宿題となります。 次回までの課題を出します。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
5. Vectorworksによる作図作業1				
コンピュータを用いて、正確な作図を行います。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
6. Vectorworksによる作図作業2				
作業の続きです。未完成の場合は、宿題となります。 次回までの課題を出します。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
7. 仮模型の制作1				
紙もしくはモデルボードなどを使用して、仮模型を制作します。 実際に材料を加工し組み立てることで、空間性や部材のかみ合わせなどを確認します。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
8. 仮模型の制作2				
作業の続きです。未完成の場合は、宿題となります。 次回までの課題を出します。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間

○授業計画		科 目 名	スペースデザイン（Space Design）	授業コード	L040451
		担当教員	近藤 正一、松岡 勇樹		
学修内容					
9. 実地見学1					
プロダクトデザインが実際にどのようにして作られているのかを知るため、デザインの現場を見学します。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
10. 実地見学2					
見学会の続きです。終了後は振り返りを行うことで、学びの確認を行います。					
次回までの課題を出します。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
11. オリエンテーション3					
これまでの演習・実習を踏まえ、改めて、課題の本質に関わる講義を実施します。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
12. オリエンテーション4					
講義の続きです。終了後は振り返りを行うことで、学びの確認を行います。					
次回までの課題を出します。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
13. スケッチによる作図作業3					
さらに詳細かつ綿密なスケッチを描きます。					
課題の主旨を踏まえ、コンセプトを明文化します。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
14. スケッチによる作図作業4					
作業の続きです。未完成の場合は、宿題となります。					
次回までの課題を出します。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
15. Vectorworksによる作図作業3					
指導教員の個別チェックを経て、本模型のための図面を作図します。					
トライアンドエラーで、何度も微調整を繰り返し、精密な設計図に仕上げます。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
16. Vectorworksによる作図作業4					
作業の続きです。未完成の場合は、宿題となります。					
次回までの課題を出します。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	スペースデザイン（Space Design）	授業コード	L040451
		担当教員	近藤 正一、松岡 勇樹		
学修内容					
17. Vectorworksによる作図作業5					
指導教員の個別チェックを経て、本模型のための図面を作図します。 トライアンドエラーで、何度も微調整を繰り返し、精密な設計図に仕上げます。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
18. Vectorworksによる作図作業6					
作業の続きです。未完成の場合は、宿題となります。 次回までの課題を出します。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
19. ERCの見学・実地研修1					
2.5mmのMDFボードをレーザー加工機を用いてカットし、部材を製作します。 そのための機材を使いこなせるようになるための研修を実施します。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
20. ERCの見学・実地研修2					
研修の続きです。終了後は振り返りを行うことで、学びの確認を行います。 次回までの課題を出します。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
21. レーザー加工機による部品製作1					
レーザー加工機による部品製作を開始します。 この時点で、図面は完全に出来上がっている必要があります。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
22. レーザー加工機による部品製作2					
作業の続きです。未完成の場合は、宿題となります。 次回までの課題を出します。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
23. 着色・組み立て1					
出来上がった部材に各自で着色をします。 乾燥後、部材を設計通りに組み上げます。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
24. 着色・組み立て2					
作業の続きです。未完成の場合は、宿題となります。 次回までの課題を出します。					
予習		課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習		不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間

○授業計画		科 目 名	スペースデザイン（Space Design）	授業コード	L040451
		担当教員	近藤 正一、松岡 勇樹		
学修内容					
25. 作品講評会1					
全員が完成した作品についてプレゼンテーションの方法を考え、説明し、講評を受けます。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
26. 作品講評会2					
講評会の続きです。					
次回までの課題を出します。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
27. 展示スペースのデザイン1					
展示スペースの空間デザインについて考えます。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
28. 展示スペースのデザイン2					
展示に必要なアイテムを確認し、必要に応じて新たに製作し、展示の準備をします。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
29. 展示物の搬入・設営・運営1					
展示物を美術館等に搬入・設営・運営します。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
30. 展示物の搬入・設営・運営2					
展示の続きです。					
展示物の営繕および観客への解説を行います。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
31. 展示物の搬出1					
美術館等から展示物を搬出します。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間
32. 展示物の搬出2					
搬出作業の続きです。					
掃除を完了するまでが課題です。					
予習	課題に対し能動的に学修する。				約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。				約2時間